

株式会社ハニーズホールディングス
2019年5月期決算説明会

Honeys Holdings

2019年7月9日(火)

2019年5月期決算のポイント

Honeys

国内事業：日本セクターは「増収増益」。営業利益率は10.2%を確保

- ⇒国内売上高は4.5%増の486億円へ、また営業利益は34.6%増の49億円、経常利益は36.4%増の51億円を確保
- ⇒既存店売上高は4.4%増加。特に下期は7.6%増加し、10か月連続して前年実績をクリアー。来店客数は通期で5.6%増加、特に下期は9.4%増加
- ⇒アセアンシフトが進展。アセアン生産比率は90%に拡大する一方、中国比率は10%に低下。販売単価1,400円で57.8%の粗利を確保
※アセアンシフトをベースとして、価格を据え置いたまま素材の品質を向上させた結果、客数の増加につながる

EC事業：売上高は77%増加し18億円へ。EC化率は2.2%から3.7%に拡大

- ⇒足下も順調に伸びており、今期の売上高は50%増の27億円、EC化率5.4%を目指す。3年後のEC売上高50億円、EC化率10%を展望

連結：中国は計画通り進展、来年3月末を目途に清算終了を目指す

- ⇒前期末に引当金等を十分に引き当てており、粛々と清算を進める

2019年5月期決算概要(日本セクター)

Honeys

(単位:百万円)

	18/5			19/5				
		構成比	前期比		構成比	前期比	見通し(1/8発表)	
								計画比
売上高	46,527	100.0%	101.2%	48,625	100.0%	104.5%	47,200	103.0%
売上総利益	27,036	58.1%	102.4%	28,096	57.8%	103.9%	27,300	102.9%
販管費	23,352	50.2%	99.1%	23,136	47.6%	99.1%	23,500	98.5%
うち人件費	9,707	20.9%	104.8%	9,614	19.8%	99.0%	—	—%
うち店舗使用料	6,159	13.2%	99.6%	6,174	12.7%	100.2%	—	—%
営業利益	3,684	7.9%	129.4%	4,959	10.2%	134.6%	3,800	130.5%
営業外損益	105	0.2%	—%	209	0.4%	198.5%	—	—%
うち為替差損益	▲32	▲0.1%	—%	23	0.0%	—%	—	—%
経常利益	3,790	8.1%	149.1%	5,168	10.6%	136.4%	3,850	134.3%
特別損益	▲198	▲0.4%	—%	160	0.3%	—%	—	—%
純利益	2,307	5.0%	179.0%	3,497	7.2%	151.6%	2,500	139.9%

(注) 特別損失として、固定資産除却損54百万円・減損損失136百万円等、計247百万円を計上しております。

四半期決算の推移(日本セクター)

Honeys

(単位:百万円)

	19/5				
	1Q (6~8月)	2Q (9~11月)	3Q (12~2月)	4Q (3~5月)	通期
売上高 (寄与率)	11,015 (22.7%)	12,664 (26.0%)	10,290 (21.2%)	14,654 (30.1%)	48,625 (100.0%)
売上総利益 (寄与率)	5,997 (21.3%)	7,458 (26.5%)	5,646 (20.1%)	8,993 (32.0%)	28,096 (100.0%)
営業利益 (寄与率)	292 (5.9%)	1,674 (33.8%)	26 (0.5%)	2,965 (59.8%)	4,959 (100.0%)

2019年5月期決算概要(中国)

Honeys

(単位:百万円)

	18/3		19/3				
		構成比		構成比	前期比	見通し(1/8発表)	
						計画比	
売上高	6,080	100.0%	1,249	100.0%	20.5%	1,200	104.1%
売上総利益	3,072	50.5%	594	47.5%	19.3%	590	100.7%
販管費	4,084	67.2%	971	77.8%	23.8%	990	98.2%
営業利益	▲1,011	▲16.6%	▲377	▲30.2%	－%	▲400	－%
経常利益	▲857	▲14.1%	▲486	▲38.9%	－%	▲450	－%
特別損益	▲1,370	▲22.5%	53	4.3%	－%	－	－%
純利益	▲2,228	▲36.6%	▲432	▲34.6%	－%	▲450	－%

(注1) 為替レートは、16.52円/元を適用しております(18/3期 16.73円/元)。

(注2) 特別利益として、事業整理損戻入53百万円を計上しております。

2019年5月期決算概要(連結)

Honeys

(単位:百万円)

		18/5			19/5				
			構成比	前期比		構成比	前期比	見通し(1/8発表)	
									計画比
売上高		52,441	100.0%	96.2%	49,728	100.0%	94.8%	48,200	103.2%
売上総利益		29,947	57.1%	95.5%	28,690	57.7%	95.8%	27,850	103.0%
販管費		27,346	52.1%	94.3%	24,164	48.6%	88.4%	24,450	98.8%
	うち人件費	11,242	21.4%	100.4%	10,006	20.1%	89.0%	-	—%
	うち店舗使用料	7,413	14.1%	92.7%	6,409	12.9%	86.5%	-	—%
営業利益		2,600	5.0%	111.3%	4,525	9.1%	174.0%	3,400	133.1%
営業外損益		248	0.5%	—%	135	0.3%	54.5%	—	—%
	うち為替差損益	77	0.1%	—%	▲94	▲0.2%	—%	-	—%
経常利益		2,849	5.4%	150.4%	4,661	9.4%	163.6%	3,400	137.1%
特別損益		▲1,435	▲2.7%	—%	▲202	▲0.4%	—%	-	—%
親会社株主に帰属する 当期純利益		195	0.4%	47.3%	3,179	6.4%	1629.1%	2,050	155.1%

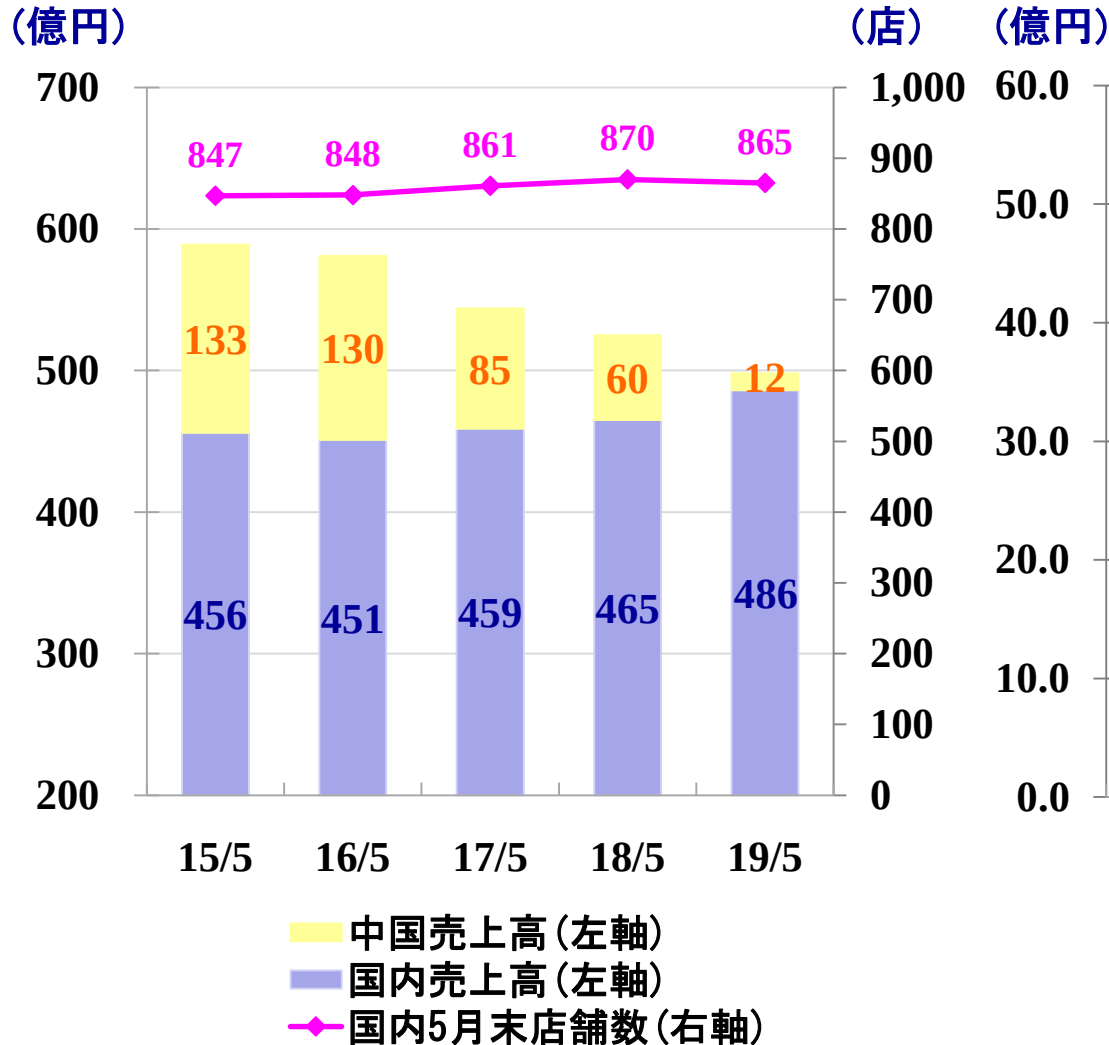
(注1) 連結決算は、決算調整のため個別決算の合計とは一致いたしません。

(注2) 特別損失として、固定資産除却損88百万円・減損損失143百万円等、計255百万円を計上しております。

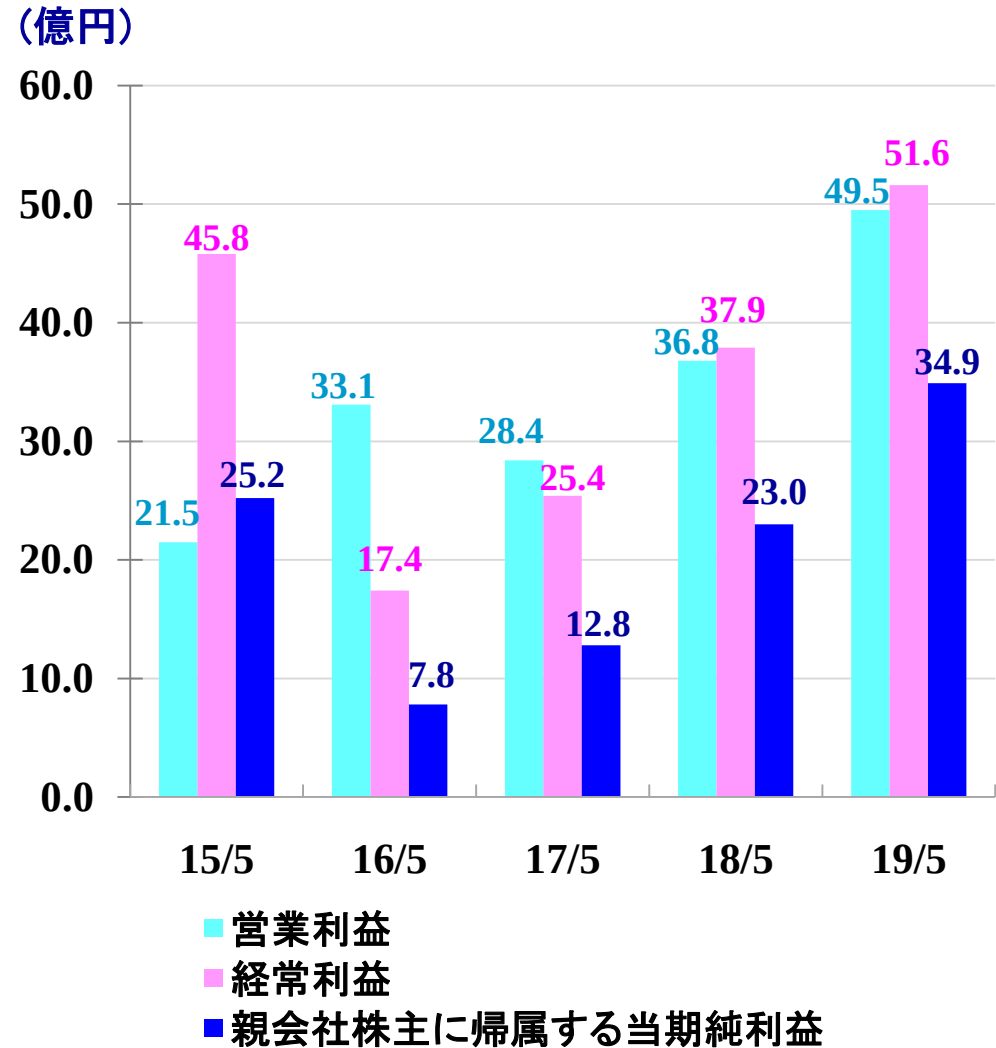
2019年5月期決算概要(業績推移)

Honeys

売上高・店舗数の推移



利益の推移(日本セクター)



売上高497億円
(中国現法閉鎖により前期比94.8%)

国 内

- 小売売上高は前期比104.9%、既存店は前期比104.4%
- 客数は106.1%、客単価は98.8%。価格と品質のバランスがお客様の支持を得て、8月以降、10か月連続して前年実績をクリアー
- 幅広い年齢層を対象とする「ブランドイメージ」が徐々に浸透
- ミャンマー自社工場の商品がジャケットやコートなど布帛の売れ筋をけん引

中 国

- 上期中に220店舗すべてを閉鎖
- 上期の売上は比較的好調、期初計画を2億円上回る

店舗数と出退店の状況

Honeys

	期初店舗数	出店数	退店数	期末店舗数
国内	870	22	27	865

中国3月末	220	0	220	0
-------	-----	---	-----	---

2019年5月末合計店舗数	865
---------------	-----

客数・客単価(日本セクター)

Honeys

(前期比%)

		16/5	17/5	18/5	19/5
全店 (直営店)	売上	98.9	101.7	100.9	104.9
	客数	99.6	107.8	98.0	106.1
	客単価	99.4	94.3	102.9	98.8
	I単価	100.9	91.3	102.0	98.3
	一人あたり買上点数	98.5	103.3	100.9	100.5
既存店	売上	99.4	101.5	99.0	104.4
	客数	100.1	107.6	96.2	105.6
	客単価	99.3	94.3	102.9	98.8
	I単価	100.6	91.1	101.5	98.0
	一人あたり買上点数	98.7	103.5	101.3	100.8

ブランド別売上高(日本セクター)

Honeys

(単位:百万円)

	18/5		19/5		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前期比
シネマクラブ	12,078	26.1%	13,211	27.2%	109.4%
コルザ	12,033	26.0%	12,917	26.6%	107.3%
グロシア	16,509	35.6%	16,483	33.9%	99.8%
その他	129	0.2%	425	0.8%	335.5%
雑貨	5,589	12.1%	5,570	11.5%	99.7%
合計	46,339	100.0%	48,609	100.0%	104.9%

(注)ブランドコンセプトの見直しにより、遡及修正しております(概算ベース)。

販管費対売上高構成比(日本セクター)

Honeys

(単位: %)

	15/5	16/5	17/5	18/5	19/5
人 件 費	21.5	19.8	20.1	20.9	19.8
店 舗 費	23.2	22.8	22.2	22.0	21.0
減 価 償 却 費	2.0	1.9	2.3	2.1	1.7
そ の 他	5.6	5.8	6.7	5.2	5.1
販 管 費 計	52.3	50.3	51.3	50.2	47.6

(注) 店舗費は広告宣伝費や水道光熱費等も含めた管理上の数値を記載しております。

貸借対照表(連結)

Honeys

(単位:百万円)

	18/5		19/5		
		構成比		構成比	前期比
総 資 産	37,916	100.0%	39,312	100.0%	103.7%
流 動 資 産	20,524	54.1%	22,456	57.1%	109.4%
固 定 資 産	17,392	45.9%	16,856	42.9%	96.9%
流 動 負 債	5,367	14.2%	4,057	10.3%	75.6%
固 定 負 債	2,501	6.6%	2,503	6.4%	100.1%
純 資 産	30,048	79.2%	32,750	83.3%	109.0%

➤ 流 動 比 率 :18/5期 382.4% ⇒ 19/5期 553.4%

➤ 自己資本比率 :18/5期 79.2% ⇒ 19/5期 83.3%

キャッシュフロー計算書(連結)

Honeys

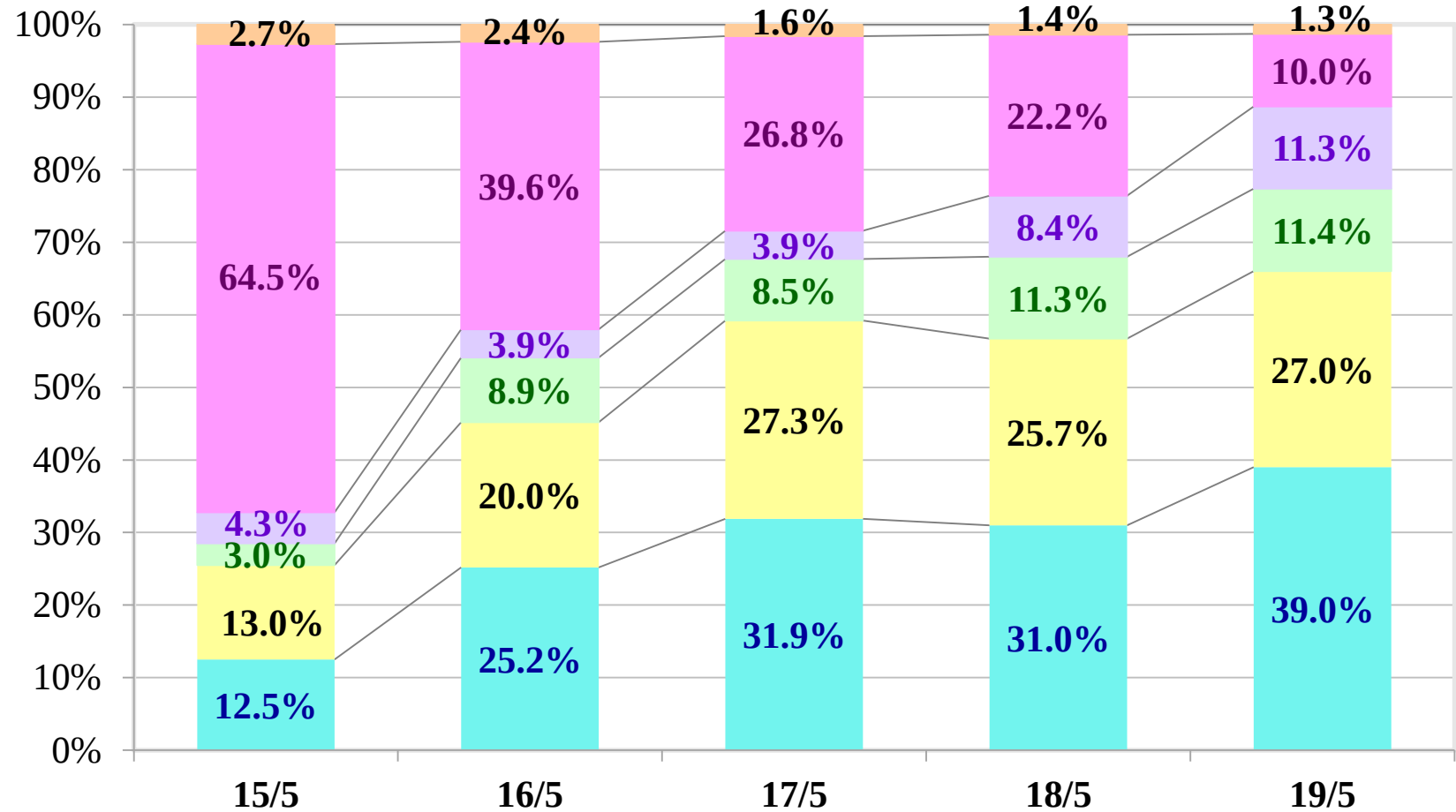
(単位: 百万円)

	18/5	19/5	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	2,270	5,117	2,847
投資活動によるキャッシュフロー	▲1,441	▲1,109	332
財務活動によるキャッシュフロー	▲894	▲806	88
現金及び現金同等物の増減額	▲45	3,163	3,208
現金及び現金同等物の期首残高	8,280	8,235	▲45
現金及び現金同等物の期末残高	8,235	11,398	3,163

▶営業活動：税金等調整前当期純利益の増加
関係会社事業整理損失引当金、たな卸資産の減少等

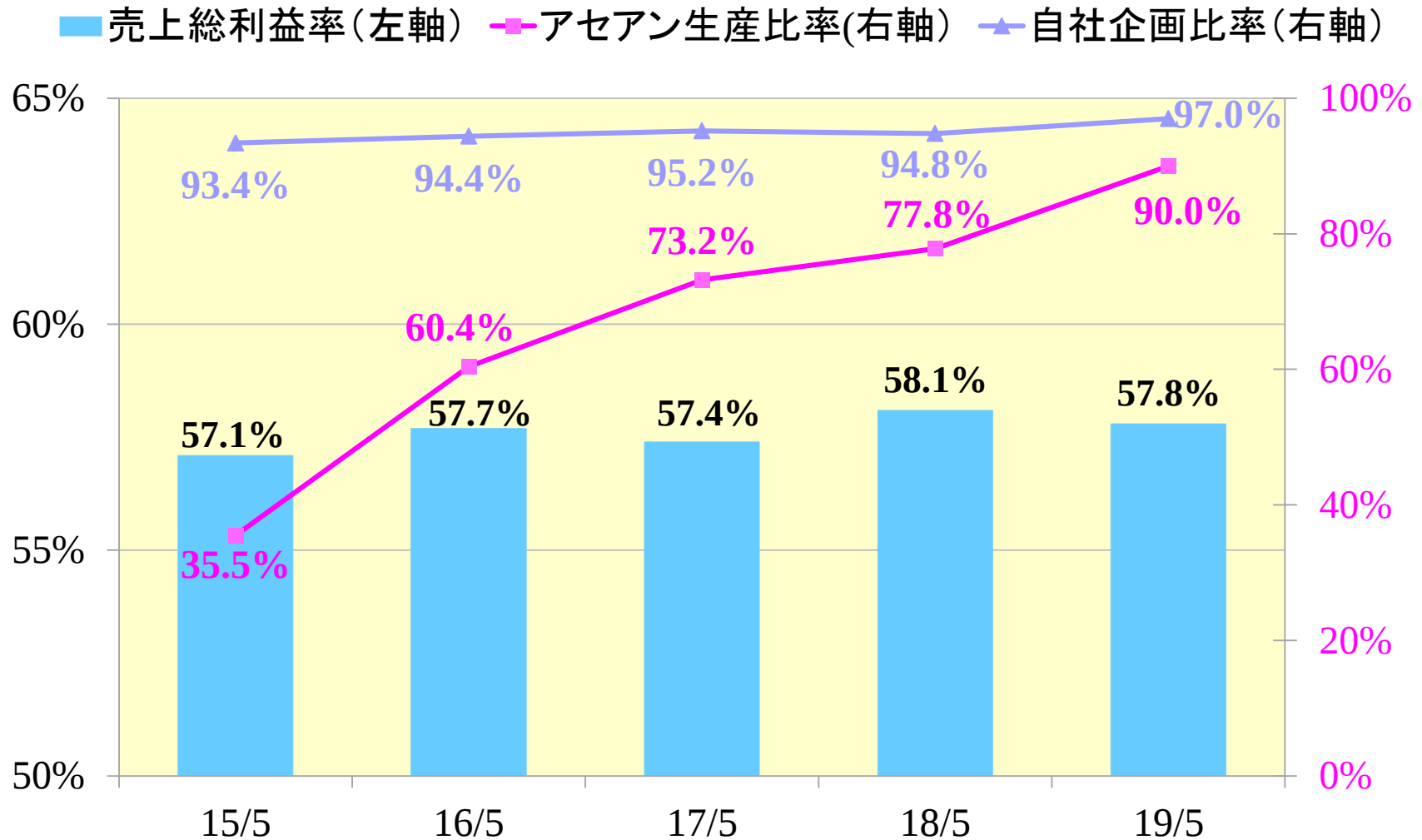
▶投資活動：有形固定資産の取得等

生産国別仕入状況(日本セクター・洋服のみ) Honeys



■ ミャンマー ■ バングラデシュ ■ ベトナム ■ カンボジア ■ 中国 ■ その他(インドネシア・インド・日本)

売上総利益率と自社企画比率の推移(日本セクター)Honeys



(注) 自社企画比率(海外生産)は、概算ベースで記載しております。

2020年5月期業績見通しと方針

2020年5月期業績見通し

Honeys

高いアセアン比率を背景に、素材にこだわり、低価格で価値のある商品づくりを進める

- ⇒ 幅広い顧客を対象として価値のある商品を提供し、引き続き客数の増加を図る。
既存店前年比は102%、うちECは150%、売上高500億円を目指す。
- ⇒ 伸びしろのあるEC事業に経営資源を積極投入。また、第3四半期の商品投入やセール対応を工夫し、売上高、収益の平準化を図る。
- ⇒ 採用難の地域を対象として、人件費を中心に経費は6億円程度の増加を見込む。
※10月の消費税引上げについては、税込価格を据え置く予定。

業績予想の前提・出退店計画について

既存店売上高：前期比102.0%（上期：103.1%、下期：100.9%）

※うちEC寄与率は2%

出 退 店：新規出店25店舗、退店20店舗
改装50店舗

①独自のSPAモデルに磨きをかけ、3ブランドで幅広い年齢層をカバー

⇒品質の向上

素材にこだわり、低価格で価値のあるハニーズの強みを生かした商品づくりを継続

⇒ファッションポイント別振分の精度アップ

お店の特徴に応じた商品振分を強化し、店舗の売上アップにつなげる
引き続き適正在庫の維持に注力し、商品回転率の向上を図る

⇒レイアウトや店頭打ち出しを一から見直す「売場リフレッシュ」を実施

前年比低迷店舗等を抽出し、OM、SVが主導して店頭打ち出しの見直し、商品整理、レイアウトの変更などを実施。不振店舗の根絶を目指す

⇒Eコマース事業の強化・拡大

EC市場全体の動向をよく見て、常に、自社サイトのユーザビリティを改善
SNS、広告媒体等を効果的に活用し、新規ユーザーを獲得するとともに既存会員の深耕を図る
自社物流センターの作業効率を高め、50億円規模の売上に対応できるサポート体制(ピッキング、包装、配送など)を確立

②ミャンマー工場の生産能力をさらに高め、日本の消費者に魅力ある価格と品質の商品を供給

⇒ミャンマー工場においては、ラインリーダーや重要工程の従業員教育を強化し、
工程換えに伴い発生する生産性の低下を削減

2020年5月期業績見通し(連結)

Honeys

(単位:百万円)

	上期予想			下期予想			通期予想			
	19/5	20/5	前期比(%)	19/5	20/5	前期比(%)	19/5	20/5	増減	前期比(%)
売上高	24,782	24,500	98.9%	24,946	25,500	102.2%	49,728	50,000	271	100.5%
売上総利益	13,994	14,100	100.8%	14,695	14,800	100.7%	28,690	28,900	209	100.7%
販管費	12,380	11,900	96.1%	11,783	12,000	101.8%	24,164	23,900	▲264	98.9%
営業利益	1,613	2,200	136.3%	2,912	2,800	96.2%	4,525	5,000	474	110.5%
経常利益	1,678	2,250	134.1%	2,983	2,850	95.5%	4,661	5,100	438	109.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	964	1,400	145.2%	2,215	1,800	81.3%	3,179	3,200	20	100.6%

※年間配当は1株当たり40円(中間配当20円、期末配当20円)を予定しております。

なお、前回の年間配当は1株当たり30円となっております。

(注1)連結決算は、決算調整のため個別決算の合計とは一致いたしません。

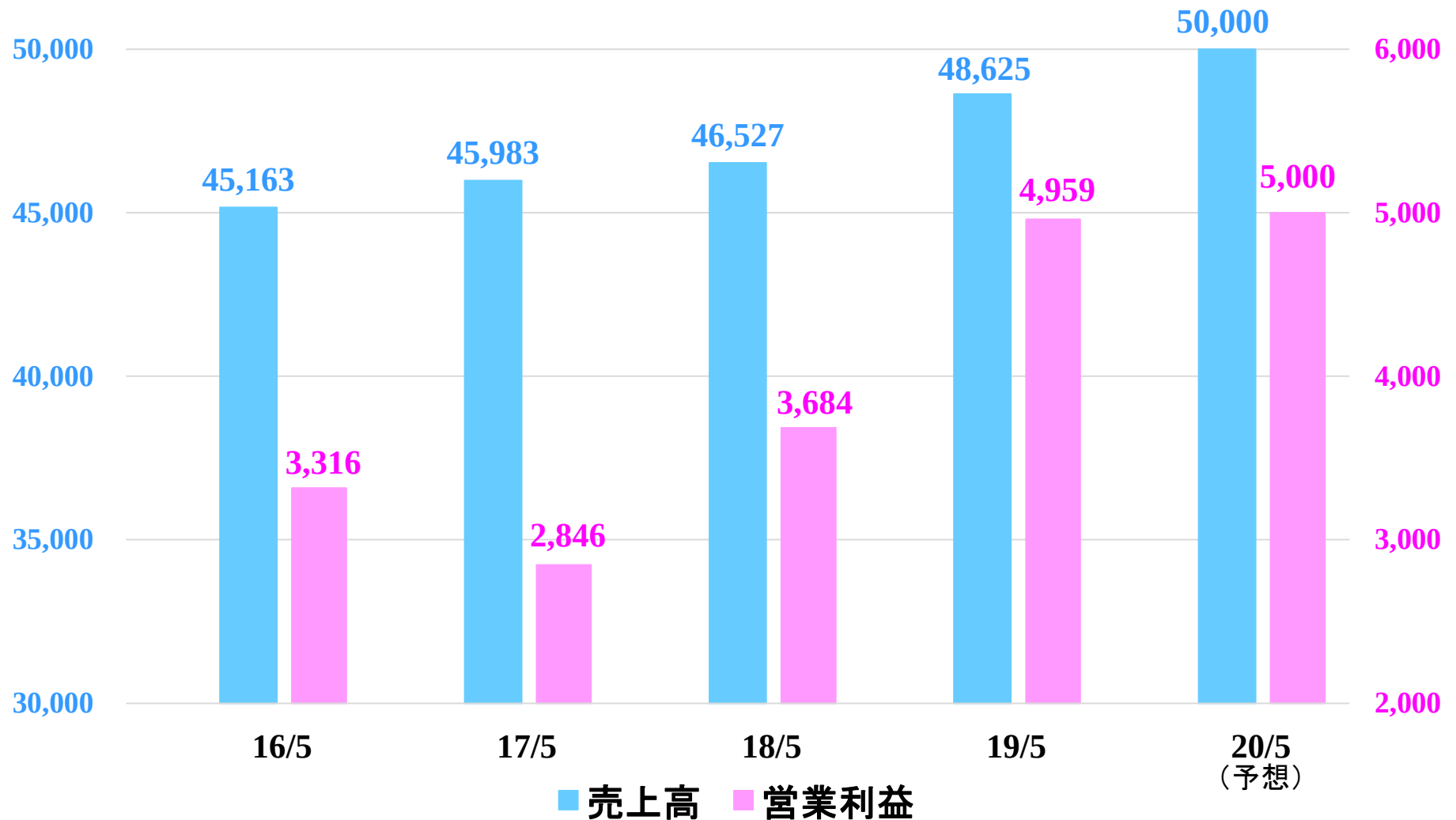
(注2)特別損失として、固定資産除却損57百万円、減損損失120百万円等、計200百万円を見込んでおります。

売上高・営業利益の推移（日本セクター）

Honeys

（売上高・百万円）

（営業利益・百万円）



2020年5月期設備投資計画

Honeys

(単位:百万円)

	19/5		20/5(予想)		
		構成比		構成比	前期比
日本セクター	1,367	98.7%	1,700	94.4%	124.3%
中国子会社	—	—%	—	—%	—%
ミャンマー子会社	17	1.3%	100	5.6%	561.2%
合 計	1,385	100.0%	1,800	100.0%	129.9%

減価償却費	847	—	1,100	—	129.8%
-------	-----	---	-------	---	--------

➤出店計画：国内新規出店25

ブランド	コンセプト・年代
グラシア(GL) 大人系(40%) GLACIER	■大人の女性のためのおしゃれ着ブランド <25歳～45歳をターゲット> きれいめ大人カジュアルから、かっちり系まで、大人の女性に向けた着まわしやすさと質感を重視して提供します。
シネマクラブ(CC) ベーシック(30%) CINEMA CLUB Excellent Tailoring for Ladies	■普段着からお出掛け着まで、様々な用途にお応えするノンエイジブランド <10代～50代をターゲット> シーズンを通して定番的に着ることができるコーディネートに必須のベーシック商品を、クオリティにこだわった安心感ある素材で、幅広い年代向けに提供します。
コルザ(CZ) ヤング系(30%) C・O・L・Z・A	■流行に遊び心を加えたヤングカジュアルブランド <15歳～30歳をターゲット> ファッショントレンドを大事にする女性のためのブランド。 流行に敏感な女性にも対応できる商品を取り揃えます。

ブランド紹介

Honeys

GLACIER
大人系



シャツワンピース2,980円
雑材ハーフムントート2,480円

CINEMA CLUB
ベーシック



7分袖透かし編Vネック.....1,980円
デニムワイドストレート1,980円
WoodハンドルBag2,480円
結びリボンサンダル1,980円

COLZA
ヤング系



オフショルブラウス 1,980円
デニムストレートパンツ.....2,480円
Wリング太ベルト 980円

店舗網(国内)

Honeys

865店舗(19年5月末現在)

地域	店舗数
北海道	43 (-)
東北	82 (3)
関東	255 (-7)
北陸・中部	158 (-1)
近畿	155 (1)
中国	55 (-1)
四国	28 (-)
九州	89 (±0)
計	865 (-5)

19年5月末現在

長崎 7 (±0)	福岡 33 (-1)
佐賀 5	大分 6
熊本 11	宮崎 6
	鹿児島 7

沖縄 14 (1)

				石川 9 (-2)					
山口 14 (-1)	島根 5	鳥取 5	京都 20	福井 7				青森 9	岩手 12 (-1)
	広島 19	岡山 12	兵庫 48 (1)	滋賀 13 (±0)	富山 7	新潟 23	秋田 12	宮城 20 (3)	
			大阪 56 (-1)	岐阜 11	長野 19 (-1)	群馬 12 (±0)	山形 12	福島 17 (1)	
			奈良 10 (1)	愛知 42 (1)	山梨 7 (±0)	埼玉 53 (-2)	栃木 17 (-1)	茨城 22	
			和歌山 8	三重 13 (1)	静岡 20	神奈川 49 (-1)	東京 58 (±0)		
								千葉 44 (-3)	

北海道 43

(注) 括弧内は18年5月末からの増減数
22店舗出店、27店舗退店「純減5店舗」

最近の店舗紹介(国内)

Honeys



ハニーズ 大垣店(岐阜県)



ハニーズ いわき小名浜(福島県)

最近の店舗紹介(国内)

Honeys



ハニーズ 四街道店(千葉県)



ハニーズ 盛岡南店(岩手県)

業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている株式会社ハニーズホールディングスの将来に関する見通しは、過去の事実ではないために不確定になるリスク要因を含んでおります。

従って、実際の結果は様々な要因によって見通しと大きく異なる可能性があります。ということをご了承ください。

その他留意事項

資料内数値は百万円未満切捨て表示し、百分率は元データから算出しております。